

福井商工会議所青年部会報

福

后

第九十八号



青岡山宇大

基本式様

会員 出田 史市

平成十三年度

刊行 四月

14

10

4

勇往邁進



「勇往邁進」
 平成十三年度
 會長 出田 吏市
 基本方針
 書 岡山 宇太郎

目次

(イ) 青年部事業・例会他報告 4

(ロ) 同 感想詩集 10

(ハ) 寄稿詩集・文集 14

(ニ) 卒業文集 16

(ホ) 会員情報 18



「イタリアのふくい」

「イタリアのイベントに、福井でこんなたくさんの方が集まるなんて...」これは、全国の主要都市にイタリアのハム職人を紹介している業者の方の言葉です。イタリアの食と文化に触れようと、10月5日から9日にかけて開催された「イタリアのふくい」には多くの人が集まりました。

青年部では食と芸術のイベント及び広報活動を担当、他団体と協力しながら交流を深めることが出来ました。特に市民ボランティアの方々は大変お世話になりました。

文林 洋 三
書 メディア委員会

「第5回市民会議」

第5回市民会議が去る

平成13年11月8日に行われた。

「市民が出来るとまちづくり」をテーマに10月実施した「イタリアのふくい」の報告。京都府立大 宗田好史助教授の「イタリアに学ぶ底力のある地方都市」と題する講演会、ベルギースカッションが行われ各テーブルに初り、5つのテーマを今後の街づくりの方向性や可能性に関し議論した。

文林 洋 三
書 メディア委員会

「快飲いん会主催新入会員オリエンテーション」

(九月度例会)

九月二十四日(祝)二十五日(火)芦原グランディア芳泉にて九月度例会・新入会員オリエンテーションと秋レクが実施された。

「会員間交流を大切に、」をスローガンに会員委員会(快飲いん会)が六月から練ってきた企画、「九月度例会・新入会員オリエンテーション&秋レク」である。「維新・伝心」今こそイノベーション&コミュニケーションをテーマとし三部構成からなる楽しい例会で、三十八名もの参加者(新入会員八名)が集った。

第一部ではYEGの歴史や組織、事業やその意義などを学んだ有意義なオリエンテーション。第二部では会員委員会水元委員長が講師となり、ワインの良し悪しの簡単な見分け方や、ソムリエのいるレストランでのマナーなど知っていると一寸カッコイイ豆知識をワイン片手に勉強。

そして、第三部の秋レク(大人の宴)。乾杯の後は、新旧会員入り乱れての大盛り上がり。そのうち綺麗どころとお座敷遊び...次第に艶やかな宴に変わっていききました。

文村 中 洋 祐
書 メディア委員会

「10月例会」

「特定非営利活動法人を学ぶ、検証、イッショライへの化ける人」

「熱い思いを受けて」福井県民活動センター主任内田一彦氏により、各の法人の活動・促進のありましや登録にあたるの法律の概要、手続き、管理運営方法などをお話いただきました。イッショライも37件目の法人の方向けに協力もったいただきます。日々がんばります。

文 振 谷 賢一郎
書 メディア委員会

「平成十三年十一月例会 十一月二十六日」
福井放送新社屋にて。

「スームインノスパーを通して福井の顔」
報道局製作部副部長 福本実氏講演
「そば」をテーマに福井県人の長所、
短所を実際に全国放送された
スームインを題材に、情報伝達の
難しさを教えて頂きました。
福本実氏は、神奈川県出身で
福井には社会人として来たとのこと
福井の良さ、悪さも具体的に指摘
して頂きました。
私達会員は、「郷土を愛し、感動と共に」
をテーマに取りくんでいきます。
福本実様 ありがとうございます。

文 富 田 幸 市
書 メディア委員会

「十一月例会」
「いい親父」出現

去る十月十九日商工会議所国際ホールにて
「会頭と語り会」を実施致しました
今日は、江守新会頭に、我々青年部の主要
活動紹介をした後、会頭の卓話を
いただきました
会頭は我々青年部の活動に良く理解(務に
YOSAKOIイッチョライ)をされてお
り、今後このような会をもっとやろうとも
言っていた頂きました
(今度はおいしいカレーライスを食べながら)
「我々にとっていい親父が出来た」と最後に
会長が言ったとおり、我々青年部の良き理解者
になってくれるものと確信しました

文 佐 竹 正 博
書 メディア委員会

「一月例会」

平成十四年一月二十三日 我々の活動
に關係の深い「JCS」「福井経済同友会」
「まちなか NPO」の三団体の代表者をお
呼びしての一月例会を実施しました。
三団体の代表よりそれぞれの活動紹
介を受けました。その中でも福井経済
同友会の今村善孝さんの独演会と
思わせずくういの熱意のこもった話が
印象的でした。

これからはYEGもJCSも同友会も
NPOもそれぞれの存在理由を理
解し合い、みんな「ますます楽しく
なる街」が創られるといいたい
思っています。

文 林 洋 三
書 メディア委員会

「会員大会イン武生」(二月度例会)

平成十三年二月十六日(土)、武生商工会館で行われた会員大会に参加し
ました。式典に先駆けてのオープニングではなせか学生服を着た高校生が、「
」と、このと突然歌を「しかも音楽会」で、絶妙の「ハモリ」の「ハーモニー」
に聞き惚れさせました。武生の会員の息子さんグループのメンバーだ
か。後で聞くと、あるテレビ番組にも出演し全国的にも有名なようです。自分も
まだ若いと思いましたが知らぬ所若人が活躍しているようです。今
までの式典にはない斬新な演出でした。

分科会は登録が違ったこともあり第一分科会に、「男を磨くセミナー」
というところ、最所は抵抗感があるものの講習を聞いてみると、真剣に聞
いて、良かったです。後半では「男性化粧」の実習があったのですが、自分だけ
でなく他の会員の方も最初は思わぬながらの実習でしたが、真剣に鏡を見て眉
を描き、部屋にいる全員がパンをこける姿には笑えました。セミナーを
けて奥さんの気持ちも少しわかったという話にはなりました。

平成十五年度には全国商工会議所青年部連合会会長研修会が福井YEGの主
管で開催されるべく福井単会が立候補しています。大会の武生YEGの
に全員一丸となり熱意を持って団結した運営を目指さなくてはと改められた
今大会でした。次大会は小浜です。

文 菊 祥 行
書 メディア委員会

「小田原全国大会」

去る平成十三年十一月八日第二十二回小田原大会が行なわれました。福井高工会議所青年部からも十四名の参加がありました。特に青年部会員が最も興味を示したのが「全国ヨサコイサミット」でした。この分科会では札幌の「ヨサコイソラン祭り」組織委員会の長谷川岳専務理事より講演が行われました。

また小田原は、桜まつり、ちようちんまつり一夜城まつりが全国的にも有名です。我々青年部の桜ハートランドや、越前時代行列、ヨサコイイチャライの祭りに関しても大いに意見交流して有意義な祭典にしていきましょう。

文 富田 幸市
書 メディア委員会

「全国会長研修、久留米会議」

2月8、9日、全国会長研修、久留米会議が催され、福井から出田会長以下13名が参加した。2年後の全国会長研修に立候補している福井YEGとして、一度は肌を感じておく必要があり、全国から1,000名を超えるお客様をお迎えするにあたり、真剣にプログラムに取り組んだ。

商青連主導の大会ではあったが、福井会議においては、我々アイデアやプランを盛り込み、より意義のある、実と味のある大会にした。い、と痛感した。

平成16年2月、全国に福井のよさをも発信しよう。

文 慶松 裕司
書 メディア委員会

「冬のレクレーションを振り返って」

今年の十二月十六日に高砂殿において冬のレクレーションが開催されました。

クリスマス会では皆様の御協力によりお子様のプレゼントや楽しい親子対抗ゲームで盛り上がりまた青年部会員の今迄に見た事のない一面（御家族・太鼓・ストッキング姿）を見る事が出来ました。

当日は青年部会員とその御家族が参加とあって日程的な事や急激な気温の変化による風邪などで参加者が限られてしまいました。参加者の皆様方には青年部活動の事など、より一層御家族に御理解して頂けたと感じ、ありがとうございました。

「行動こそ真実」

いまこそアントレプレナーズスピリッツ

平成14年度、体制決まる

会長 山岸寛士

直前会長 出田吏市

副会長 牧野利幸

清川卓二

林 洋三

慶松 裕司

総務委員長 宇佐美嘉一

メディア 石村史朗

全国会長 宮本 武

研修準備 富田 幸市

例会 交流拡大 村中 洋祐

アントレプレナーズ 高原 裕一

イッチョライ 菊 祥行

文 岡山 宇太郎
書 メディア委員会

「イタリッパっふいっし」

ふくいてイタリッパに似てるんだ
めがねせしんいちらっちは会社
いあふくいまげんきないね
でもイタリッパはげんき
イタリッパに学ぼうよ
イタリッパの人たちのように
陽気になろう
みんなぞっチャオっ
とえかけあお
それが一着だわ

ま

「市民会議」

街も考えまっつもの
街につつその望みや
思いを打ち出し
共に歩き出そうと
してるもの
人として素直な
気持ちがあるならば
イガー

「新入会員オリエンテーション(九月例会)」

YEGについて学び、
ふくいで働く仲間たちと
酒を飲みかわす
ほんのひといきの時
会員であることの意義、
ふるさと福井で働く
ありがたみを知った
私たちはいろんな仲間に
支えられている
みんなで力を合わせ、
これからの福井の発展のため
一層頑張ろうという
意欲が湧き出てきた気がする

平成十三年度新入会員 山腰幸雄

「ザ、イツヨライ」
それはたまた一夜限りの
短い夢物語
人は望み叶わぬゆえに
胸のどこかで身に受ける風
確かめて現在の瞬間を
感じまっく

昨日を憂い明日にとまどい
人は未来 夢を見る
手を取って語り合っ
創らうぜ イツヨライ
イガー

十一月例会（FBCにて）に参加して

「福井県人」

背筋を伸ばし
肩むじ張らず
すんなり
さらさら
いきましよう
水のように
それがなかなか
できない私



十二月例会（会頭と語る会）に参加して

「カレーライス」

モグモグ Spoon を
くちへはこぶ
だれもなにも言わず
食べている
今度は具だっぶり
あたたかい
カレーライス
食べたいね



会頭と語る会にて
えいじろう

冬のレクリエーションに参加して

「クリスマス会」

お父さん
今日は楽しかったね
豪華なプレゼント
嬉しいな
ストッキング姿の
お父さんも素敵だったよ
来年も連れて来てね
お父さん



小田原全国大会に

参加して

小田原は
ちようちんが
有名だ

「全国会長研修
久留米会議」
くるめ
とんこつ
ぶりぢすとん



ちようちんは
手元を明るくする。

ちようちんは
人間をみているん
だなあ。



平成十三年度をふり返って

平成十三年度会長 出田吏市

「勇往邁進」

拝啓、親愛なる仲間達へ
 私こと出田吏市は、平成十三年度会長職を無事
 終える事ができました。
 これも皆様の厚い支援のお陰であり、感無量の
 思いです。
 私の性格はどちらかといえば、信長でも家康で
 もなく、ミニ秀吉だと思っております。
 青年部に入会して八年、目の前の目標に向かっ
 て歩んできただけに、運良く会長まで経験
 する事ができました。重い責任を満足に果たす
 事ができず反省しております。しかし、少しは
 何かを残せたとも思います。
 青年部とは自己研鑽するのに、とても良い場
 であり多くの友にも経験して欲しいと改めて感じ
 ております。勇往邁進・躊躇わずに実行できる
 青年部は素晴らしい組織であり、青年部こそ時
 代が求めている組織です。自信を持って挑戦し
 ていきましょう。
 たった一度の人生・カ一杯生きようでは有りま
 せんか。
 明日の来ない今日はない、夢あるものは大成す
 る。
 私自身これから勇往邁進で頑張りたいと思っ
 ます。
 青年部に幸あれ。

敬具

「場はまた昇る」

ソウルへ行った
 街は活気にあふれ
 市場はごたごたがまわっていた
 シイヤイへ行ってきた
 街は活気にあふれ
 飲食店は人でにぎわっていた
 パンコクへ行ってきた
 街は活気にあふれ
 車やバイクで道がいっぱいだ
 コーヒーショップへ行ってきた
 街は活気にあふれ
 劇場や五輪場は盛況だった
 ひるがえって東京大阪名古屋福岡
 として 福井はどろどろ
 世界中の人がほろほろ涙を流して
 生活水準もずいぶんと向上したはずなのに
 まっては気も落ちる状態
 恥かからぬよう頑張る
 すっかり蒸籠してしまっている
 自信を取り戻し
 いまこそいかに生き残るのみ
 二十一世紀は日本にいて
 明るくものごとをこなさう
 現実を直視しよう
 母ははよこがら(お母さん)の心で

慶

「みんなまで」

「YOSAKOI イッチャライ」
 ファナーレの統踊り
 いろいろなチームが混ざり合って
 真夏のクリスマスツリーのよう
 音楽・鳴子・踊り・笑顔
 小学生のぼくも 年配の女性も
 スマイルラングージ
 かわりに鳴子が話してる。
 「入賞できなかったけど最高だね」
 「ええあなたの笑顔が最高よ」
 「おみせ最高だよ」
 などなど。

錦

「フィギュア」

オリンピック フィギュアスケートの
 ワン・シヨット
 吹米人はスタンディング・オブベーション
 うなる歓声の中 ほとりの日本人
 腰かけたお地蔵さんのよう
 お地蔵さんはスローを相手も……
 でもそり目は物体ではなかった
 太陽を背にしたフらうらのひとしずく
 みたいで

錦

おくやみ

平成十四年二月五日青年部会員 加藤一嗣さんが逝去されました。

ここに謹んで哀悼の意を申し上げます。

生前 加藤氏は青年部活動に積極的に参加され、桜ハートランド、サンバカーニバルでは、中心的な役割を果たされました。又、会報「福居」では青年部のオリジナル漫画を執筆され会報の充実に協力を戴きました。加藤氏への追悼の意味を込め次にその漫画の代表作を再掲載させていただきます。



平成八年三月発行 会報「福居」七十七号掲載

おめでた

結婚 並びに 事務所開設

番匠功 さん

平成十三年二月一日 京料理「離世」(福井市足羽)において「えい子さん」と挙式披露宴を上げられました。お二人共いつまでもお幸せに...

平成十四年一月十日、かねてから計画をされておりました土地家屋調査士事務所を福井市西木田にて開設されました。

(本人より、事務所開設の折には青年部各位より多くの

励ましの言葉を戴きありがとうございました)

ご出産

清川 卓二さん

平成十四年二月六日に双子の娘くん(次女三女)がお生まれになりました。

藍里(あいら)ちゃん、朱里(あかり)ちゃん

(パパの感想・日本古来の色 藍(青)、朱(赤)の双子です。どっかパパ似でかわいくなりますように...)。

毛筆 会報九十八号

発刊に当り

世の中IT・デジタルの時代だ。デジタルはデジタルが語源だ。デジタルは「指」という意味がある。つまりIT・デジタルは「指が基本だ。今回の会報はその指の器用さが試される手書き墨書を基本とした難しい...。字が上手いか美味しくないかは別にして手書きの味も大切にしていきたいものだ。

メディア委員会

(別名ユビキタス委員会)

委員長 佐竹 正博

西木田通住

これまで

ソースカツ丼

何杯注文したるか

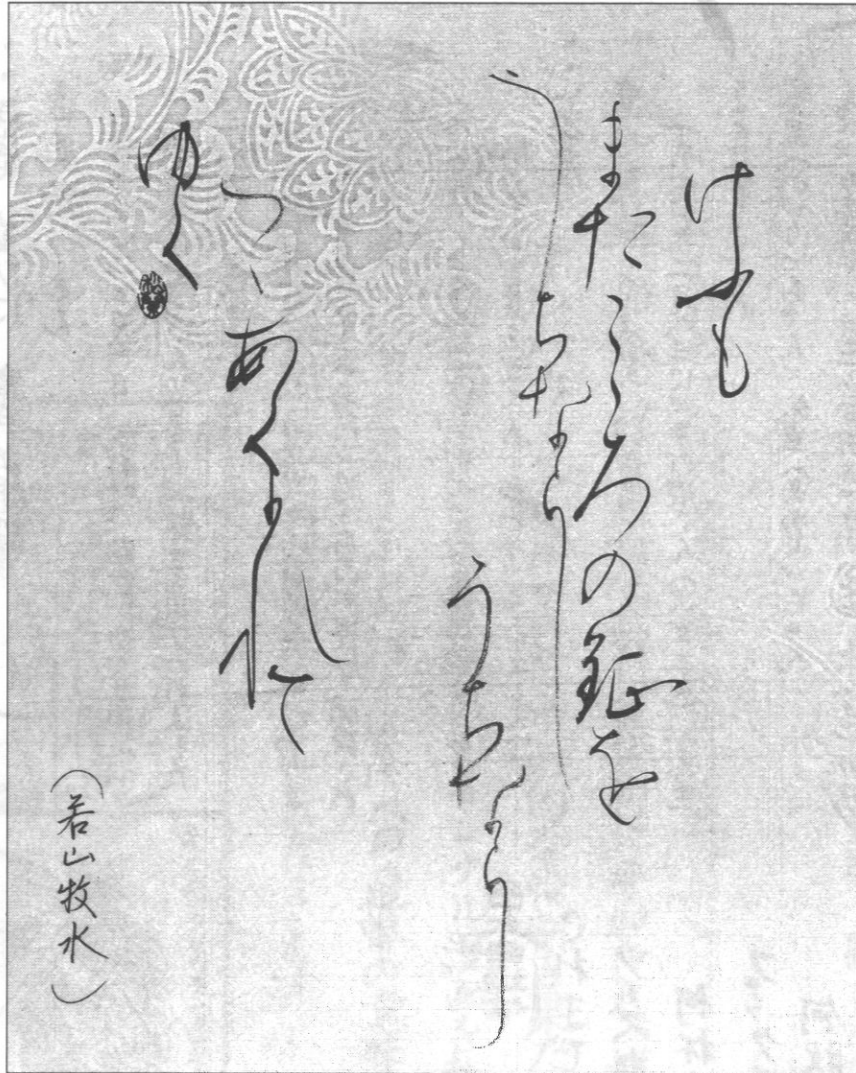
フックス

何枚流したるか

青年部バンザイ

これからもよろしく

聖



(若山牧水)

西山秋蘭 (日本墨書会)

よみ けふもまたこころの鉦かねをうち鳴らしうち鳴らし
 つつあくがれて行く

「編集後記」

今回の会報では、福井を代表する書道家「西山秋蘭」先生に表紙・上の作品を執筆戴いた。上の作品は先生の座右の銘であり、意味は「人間一生 夢 理想をいつまでも持つて生きて行きたい」という意味だそうです。これは先生から我々青年経済人としての青年部皆に贈られたメッセージでもあります。青年部全員がその意味を肝に銘じたものです。

最後に今回の会報の執筆に協力戴きました「西山秋蘭」先生、青年部真木康至相談役、岡山宇太郎会員 本当にありがとうございました。

S

福井商工会議所 青年部 会報九八号

発行日 平成十四年三月二十日

発行者 出田史市

編集者 佐竹正博

執筆協力 西山秋蘭(日本墨書会)

真木康至(青年部相談役)

岡山宇太郎(青年部会員)

発行所 福井商工会議所 青年部

メディア委員会

福井市西木田二一八一

電話0776-368122

ファクス 368568